



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)
新型コロナウイルス感染症
対策について



Q 介護、障がい者施設等に携わる人たちのような、感染のリスクがあっても休めないエッセンシャルワーカーに対し、PCR検査、抗原検査の一斉・定期的検査を行うことは急務であると考えますが、実施する考えについて伺いたい。

A 健康医療部長

県内の感染拡大状況と高齢者施設におけるクラスターの発生を受け、高齢者を感染から守ることが急務であり、国からも要請が通知されている案件のため、12月に、高齢者施設の職員に対し、本市独自で検査を実施することとしました。

全てのエッセンシャルワーカー等の一斉・定期的な検査は、検査体制の状況、費用やその有効性などを考えると、市単独で実施することは難しいと考えます。

今後とも感染の状況から判断し、感染拡大防止と市民の命を守る観点から、必要に応じ本市独自の検査の実施を検討していきます。

その他の質問

☆第8期介護保険事業計画について



横井 帝之 議員(新風)
新型コロナウイルス
に関する対策について



Q 新型コロナウイルス感染拡大を受け、令和2年9月15日に佐野市緊急事態宣言が発出され、多くの事業者の皆様が経済活動に影響があったと思われる。これから半年の支援がとて重要だと思いが、今後実施予定の支援事業を伺いたい。

A 市長

感染防止を目的としたICT等の活用によるテレワークの導入など、大都市圏に集中しない新しい働き方への取組が急速に進んでいることから、本市では、この状況を戦略的な企業誘致による雇用の創出に生かすため、新たなテレワークのできるオフィスや、コワーキングスペースの環境整備を行う事業者向けに、新しい働き方環境整備費補助金を創設したところです。

その他の質問

☆新型コロナウイルス感染症の影響について



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)
コロナ禍における
対策について



Q 学校保健安全法に示されている学校環境衛生基準には、換気や保温という項目が示されている。今年の冬、教室ではコロナ感染防止対策として、状況によってはウオームビズということ厚着をし、暖房をつけた状態で窓を開けていたと思われる。教室の換気や保温についての考え方を伺いたい。

A 教育長

文部科学省から参考資料として、寒冷な場面における新型コロナウイルス感染症防止等のポイントが示されていますので、それを指針として対応していきます。

具体的には、寒い環境でも換気をする必要があるため、室温は18度以上を目安として、室温が下がらない範囲で常時窓を少し開けて対応していきます。

